うちのイチ押し!

大阪市

こどもカーニバル

市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊 べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- ●セレモニー広場…こどもたちによる鼓笛隊やブラスバンド等の演奏などが行われます
- わんぱくひろば…スタンプラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- ●模擬店コーナー…フランクフルト、フライドポテト、ジュースなど
- 遊び体験コーナーミニ SL コーナーミニオリンピックほか

自由

■ 4月24日(日) 10:00~15:00

場所 大阪城公園 太陽の広場、野球場 (JR 「大阪城公園」、Osaka Metro 「大阪ビジネスパーク」)

対象となたでも 費用入場無料(コーナーにより一部有料)

※雨天中止(小雨決行)のほか、感染症等の影響により中止 または延期・実施内容を変更する場合があります。

お問い 合わせ

大阪市総合コールセンター

(年中無休・8~21時)

電話:4301-7285 FAX:6373-3302

大阪市こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、こどもたちの健やか な成長を願い、昭和54(1979)年から開催しています。 こどもたちによる演奏や開会宣言、大型のこいのぼりの掲揚な ど、こどもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなどこど もたちが家族や友だちと楽しく参加できる多彩な催しで、一日 中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



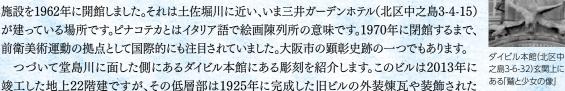
実施主体: 大阪市子ども会育成連合協議会 主催:大阪市

大阪の史跡や歴史 資料を毎号連続で

アートな中之島のさきがけ―「グタイピナコテカ」「鷲と少女の像」

2022年2月2日、待ちに待った大阪中之島美術館が開館しました。隣接する国立国際美術館や 中之島香雪美術館とともに、いま中之島の西部がアートの街として活気づいています。今回はその アートスポットのさきがけについて紹介したいと思います。

かつての中之島は、江戸時代には諸藩の蔵屋敷がひしめく場所でした。そこにあった大きな土蔵を改 装して、具体美術協会を主宰する前衛芸術家の吉原治良(1905-1972)が「グタイピナコテカ」という展示 施設を1962年に開館しました。それは土佐堀川に近い、いま三井ガーデンホテル(北区中之島3-4-15) が建っている場所です。ピナコテカとはイタリア語で絵画陳列所の意味です。1970年に閉館するまで、 前衛美術運動の拠点として国際的にも注目されていました。大阪市の顕彰史跡の一つでもあります。





之島3-6-32)玄関上に ある「鷲と少女の像」

石柱などを取り外して再利用するという、とても手間のかかる仕事をおこなってつくられています。その中央玄関上に 大国貞蔵(1890-1950)が制作した「鷲と少女の像」があります。これも旧ビルにあったものを同じ場所に再設置した もので、「近代大阪を彩る都市芸術」として大阪市指定文化財となっています。鋭い眼光と爪をもった3羽の鷲の上 に、ギリシャの女神のような薄衣を纏った少女が右手を斜め上に向けて立っています。大国は大阪生れの彫刻家で 若くして実力を認められた作家です。旧ビルの設計に携わった建築家・村野藤吾(1891-1984)とも親交がありまし た。大国がこの作品に込めたテーマはよくわかりませんが、オフィスビルの玄関であることから、鷲は当時のビジネスマ ンの姿、少女はその内なる魂のあり処、例えばピュアな向上心のようなものを示しているようにも思われます。

中之島の南北両岸には遊歩道があり、この季節の散策には打ってつけです。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)